

浩然

「ふるさとを愛し 自他を大切に
志高く未来を切り拓く生徒の育成」

香美町立村岡中学校通信

No. 8 2019. 10. 11 (Fri.)

全力を出し切る！

感動の体育祭が終わり、9月25日には但中秋季陸上競技大会が開催されました。今回は、優勝者は出なかったものの、3種目で2位に入るなど入賞者8人と健闘しました。また、参加人数も21種目18名と今までで最多の参加者でした。11月6日には但中駅伝競走大会も控えています。部活動の新人戦も1・2年生が新チームとして初めての公式戦に臨みます。まずは10月5日の卓球部個人戦では幸先よく、男子が1・2・3位上位独占(田中瑠紀くん・今岡功貴くん・中村駿汰くん)、女子も岡本華望さんが優勝するなど、5人が個人戦での県大会出場を決めました。(台風が気になりますが)次の卓球団体戦(12日)、バレーボール部(12日)、バスケットボール部(19・20日)も活躍を期待しています。夏の暑さに耐え懸命に練習した成果を大いに発揮して欲しいと願います。また、今後の課題や目標も確認することができるのではないかと思います。保護者の皆さん、熱い応援をよろしくお願いします。

さて、今年の体育祭のあいさつで、「時間は命の一部。今の時間を大事にできない人は、未来の時間もきっと大切にできない。要は全力を出し切ること！」という話をしました。

今から60年ほど前の事ですが、こんな話があります。



アメリカのウィスコンシン州にある人口約10万人の町に、勝率1割程度の弱小のアメリカン・フットボールチームがありました。チーム強化のために選手を補強したいけれども予算がない。そこでチームは、一人の男を新しいヘッドコーチとして招きました。名前はヴィンス・ロンバルディ。彼はヘッドコーチに就任した1年目で、勝率5割を超えるところまでチームを引き上げ、そして2年目からは5期連続優勝と大躍進しました。

ロンバルディがなぜ弱小チームを短期間で強豪チームに生まれ変わらせることができたのか。実は彼の指導には、優れた戦略どころか特別なことは何もなかったらしいのです。もちろん厳しい練習はあったのだと思います。しかし、結果的に彼が望んだものはただ一つ。それは、選手たちに「100%」を要求しただけでした。

練習であっても試合であっても、一つ一つのプレーを全力で取り組む。それ以下はなく、自分のすべてをグラウンドで出し切ることを選手たちに要求したのです。現在、NFL(National Football League)の優勝決定戦「スーパーボウル」の勝利チームに贈られるトロフィーは「ヴィンス・ロンバルディ・トロフィー」。彼の功績を讃えたものです。

“Leave everything on the field today!” 「今日、自分の全てをグラウンドで出しきれ！」
～ヴィンス・ロンバルディ～

文化祭や合唱への取り組みもそうですが、スポーツも勉強(受験)も実は組織力であり、チームプレイです。傾向を徹底的に調べ尽くしてその対策を練る。そして100%全力で取り組めば、できないことはそうそうないと思います。2学期は大きな行事もたくさんありますが、実力テスト、中間テストや期末テストというふうに、大事なテストも多くある学期です。漢字検定、英語検定もあります。まずは目の前にはっきりした目標を持つ中で意欲的に取り組み、クラス全員がベクトルを合わせる。行事も学習も自分の100%を出し切って欲しいと願っています。

第3回校内マラソン大会実施！

10月4日、一日順延した校内マラソン大会を開催しました。一昨年から始め第3回目を数えます。春から体育の授業や部活動で走り込んできた成果を皆が十二分に発揮してくれました。マラソンは自分との戦いと言われます。特に折り返しまでの往路はずっとなだらかな上り坂が続く、体力、脚力を非常に消耗する難しいコースです。ケガ等で見学応援の生徒もいましたが、参加生徒も応援も一体感のあるマラソン大会でした。最終ランナーの頑張りや、迎える生徒たちの姿に「涙がでました」とおっしゃる保護者の方々もあり、「村中プライド」の真骨頂を見た思いがします。

昨年、マラソン大会をご覧になった藤原教育長が「生徒たちが頑張っている表情がとてもいい。ああいう姿を保護者や地域の方々にももっと見ていただきたい。」とおっしゃいました。そこから、今年オープンスクールの一環とし、PTAの方々にも監察員等のボランティアとしてお手伝いいただくことになりました。一人ひとりが一生懸命走る、取り組む姿は文句なく美しく、心を打つものがあります。

沿道等でご声援いただいた保護者の皆さま、地域の方々、そしてボランティアとしてお世話になった皆さまにあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。(文責:才田 寛)

(*個人6位までの結果を掲載します。学年順位等は学年通信などでご確認ください。)

【男子】 ☆団体優勝・2年 ☆第2位・3年1組 【女子】 ☆団体優勝・2年 ☆第2位・1年

1位 福井 峻(3年)	1位 井上真里愛(2年)
2位 山田峻大(2年)	2位 中村月華(1年)
3位 今岡功貴(2年)	3位 岡沢友里(2年)
4位 田中陵湧(3年)	4位 山根結衣(2年)
5位 田中天悠(3年)	5位 石井実玖(3年)
6位 山根恒星(2年)	6位 小谷沙羅(2年)



但中秋季陸上の結果・文化面の活躍

☆但馬中学校秋季陸上競技大会 (9/25 豊岡総合スポーツセンター陸上競技場)

3年生男子3000m	第2位	福井 峻 (3年)	10' 04"58
3年男子砲丸投げ(5Kg)	第2位	田中 遼 (3年)	8m82
3年女子砲丸投げ	第2位	田中 暖花 (3年)	9m45
	第5位	長瀬 恵美 (3年)	7m48
共通女子円盤投げ	第3位	田中 暖花 (3年)	19m61
共通女子800m	第5位	中村 月華 (1年)	2' 38"56
共通男子800m	第6位	田中 天悠 (3年)	2' 17"04
1・2年女子走り幅跳び	第6位	田中 優奈 (2年)	4m10



☆村岡交通安全ポスター展

町長賞 西谷 悠希(1年) 入選 中村 駿汰(1年)

☆美方郡防火ポスター展

美方郡広域事務組合消防長特別表彰 中村 月華(1年)

☆但馬文学のつどい

【俳句の部】 但馬文教府長賞 「地平線ノックアウトの炎天下」 西谷 楓輝(3年)

☆但馬小・中学校読書感想文コンクール

特選	「ふたりにもらった勇気」	中村 麻耶(3年)
	「積極性とその先の可能性」	西谷 実日子(1年)
佳作	「悩みに応える難しさ」	中村 宏聡(2年)
	「重ね合う自信」	坂中 心(3年)

